

平成28年度 第6回キッズ・モニターアンケート 「手話（しゅわ）について」実施報告

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

実施概要

1. 実施期間 平成29年1月13日～1月29日
2. 回答者数 219人
3. 回答率 39%

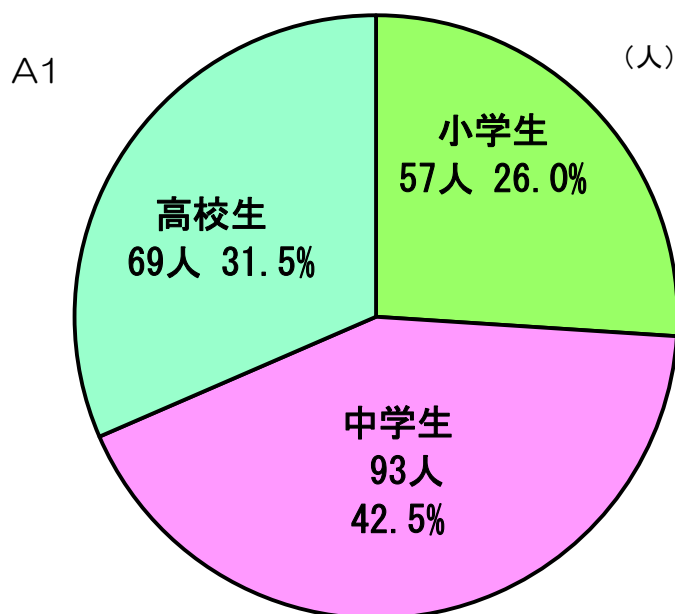
アンケート結果概要

Q1 あなたの年代

あなたの年代はどれですか。

- ①小学生 ②中学生 ③高校生

今回答えていただいた方の年代は下の表のようになりました。

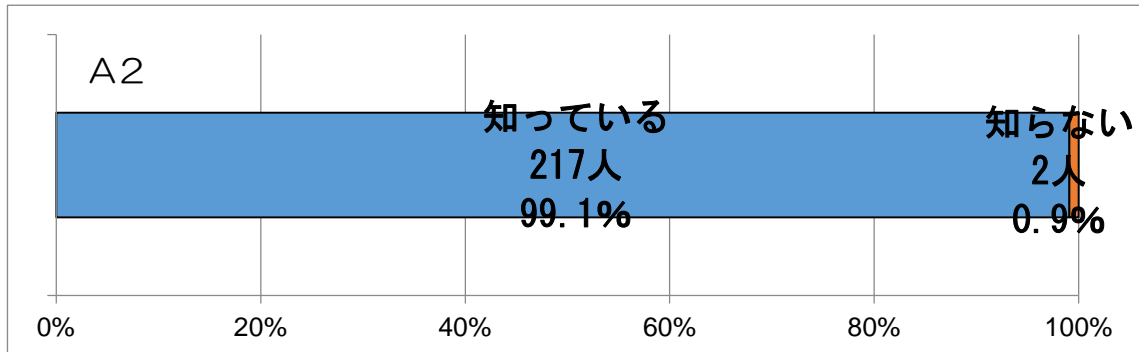


Q2 手話について(1)

あなたは、「手話(しゅわ)」というのがあることを知っていますか？

※手話が使えなくてもかまいません。

- ① 知っている ② 知らない

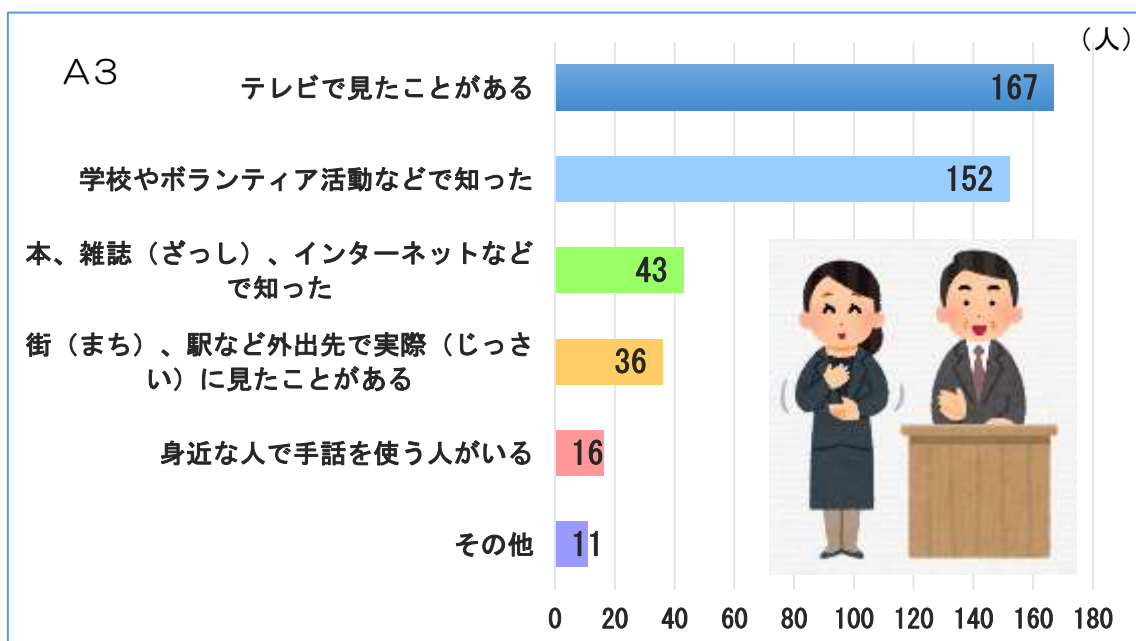


Q3 手話について(2)

Q2. で「知っている」と答えた人に聞きます。

「手話」をどのようにして知りましたか？ あてはまるものすべてをえらんでください。(複数回答)

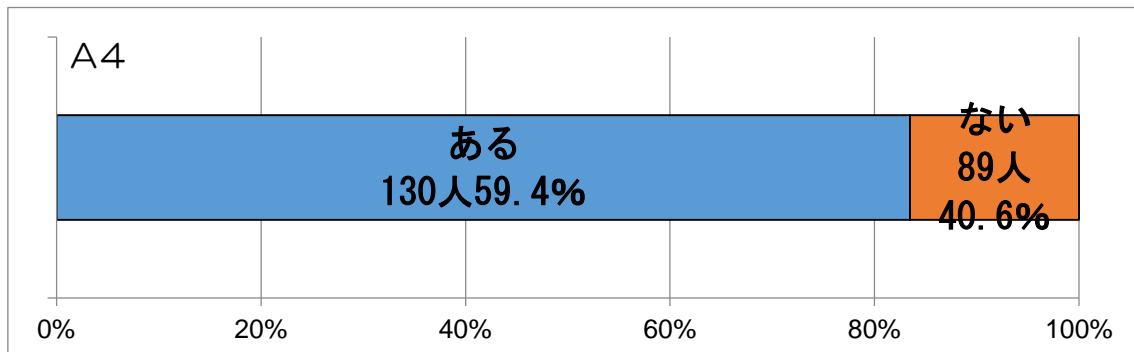
- ① テレビで見たことがある ② 学校やボランティア活動などで知った
③ 本、雑誌(ざっし)、インターネットなどで知った
④ 身近な人で手話を使う人がいる
⑤ 街(まち)、駅など外出先で実際(じっさい)に見たことがある
⑥ その他



Q4 手話にふれる・学ぶことについて(1)

あなたは、これまでに、手話を使う人に会ったり、手話を学んだりしたことがありますか？

- ①ある ② ない



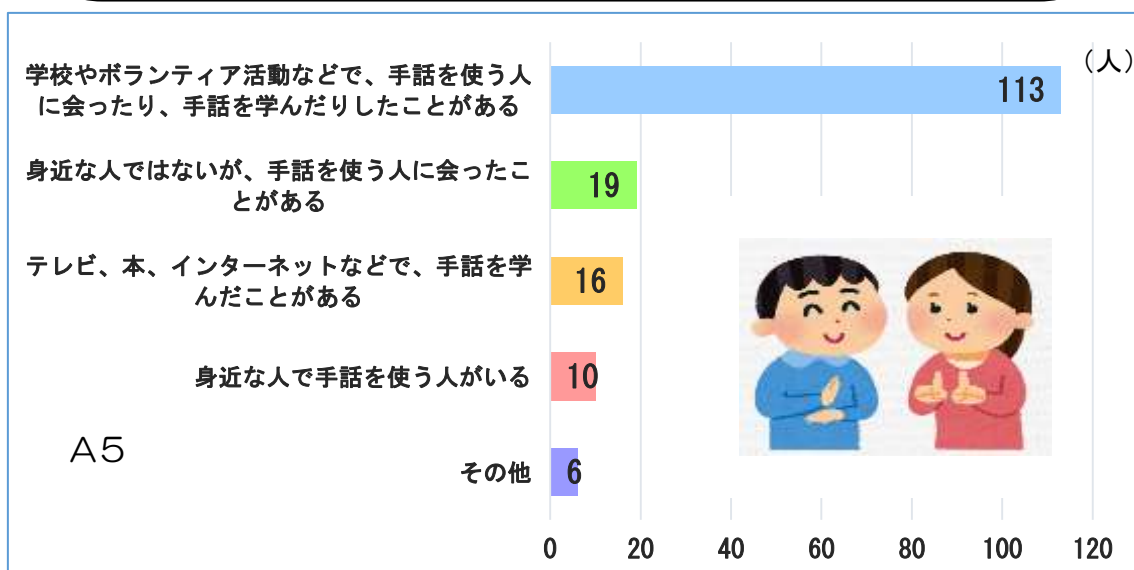
Q5 手話にふれる・学ぶことについて(2)

Q4. で「ある」と答えた人に聞きます。

それはどのような場面でしたか？ あてはまるものすべてをえらんでください。

(複数回答)

- ①学校やボランティア活動などで、手話を使う人に会ったり、手話を学んだりしたことがある
- ②テレビ、本、インターネットなどで、手話を学んだことがある
- ③身近な人で手話を使う人がいる
- ④身近な人ではないが、手話を使う人に会ったことがある
- ⑤その他

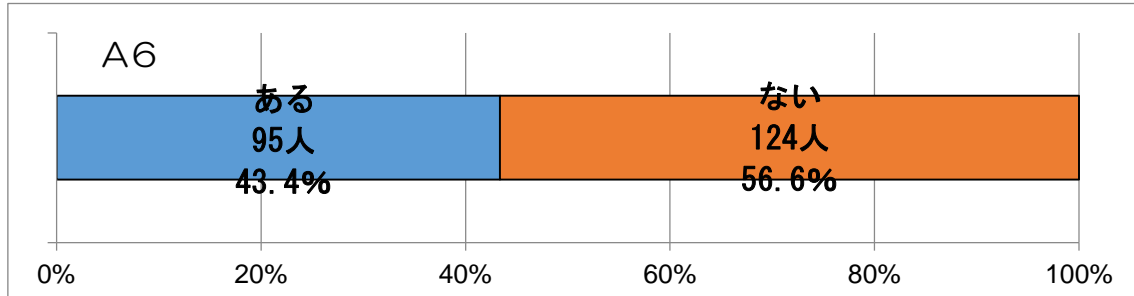


※テレビなどで「見た」ことがある人が多い一方で、実際に「ふれる」「学ぶ」のは学校やボランティア活動にかたよることがわかりました。

Q6 手話の使用について

あなたは、これまでに、手話を使ったことがありますか？

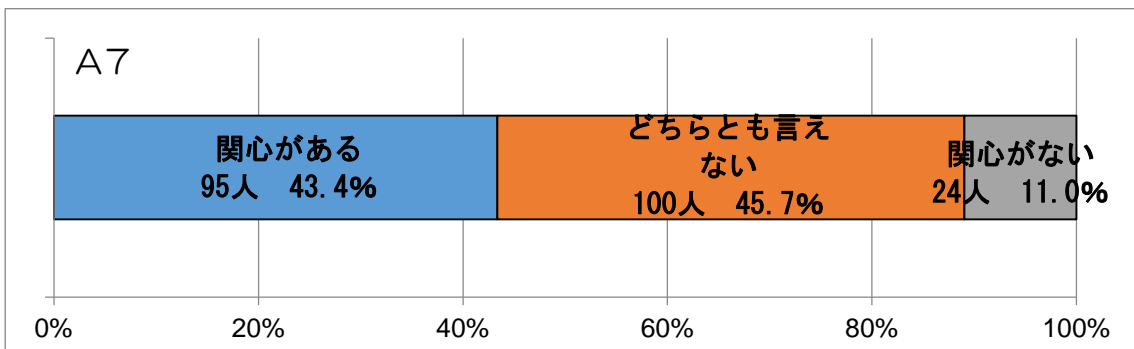
- ① ある ② ない



Q7 手話への関心について

あなたは、手話に関心がありますか？

- ① 関心がある ② どちらとも言えない ③ 関心がない



※Q6 と Q7 でクロス集計をしてみました。

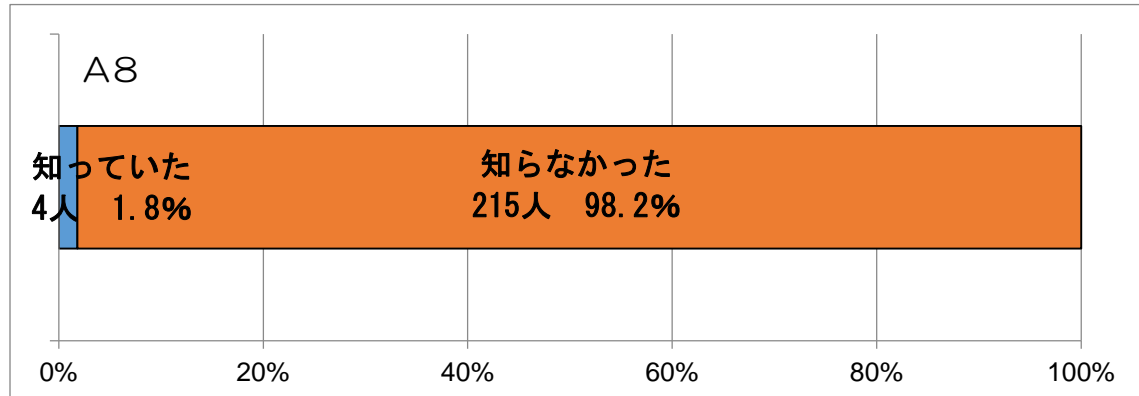
Q7 手話への関心について	Q6 手話の使用について		
	ある	ない	総計
関心がある	52	43	95
どちらとも言えない	36	64	100
関心がない	7	17	24
総計	95	124	219

これを見ると、手話を使ったことが「ある」人と「ない」人との間で、手話への関心に差があるのが分かります。

Q8 三重県手話言語条例（じょうれい）について

あなたは、「三重県手話言語条例」ができたことを知っていましたか？

- ①知っていた ②知らなかった



☆「三重県手話言語条例」は、平成29年4月からスタートします。

この条例では、手話は、耳の聞こえない人がコミュニケーションをとるための大切な「言葉」であることや、県は、手話を使いやすい環境（かんきょう）づくりを進めること、また、県民のみなさんの役割として、手話への理かいを深めていただくこと、などを定めています。

条例にもとづく取組を進めることにより、聞こえない人と聞こえる人が、おたがいを尊重（そんちょう）し、手話が広く利用される社会になることをめざします。

「できるかもん」

一般社団法人三重県聴覚障害者協会
マスコットキャラクター
（手話をしている様子を表しています）



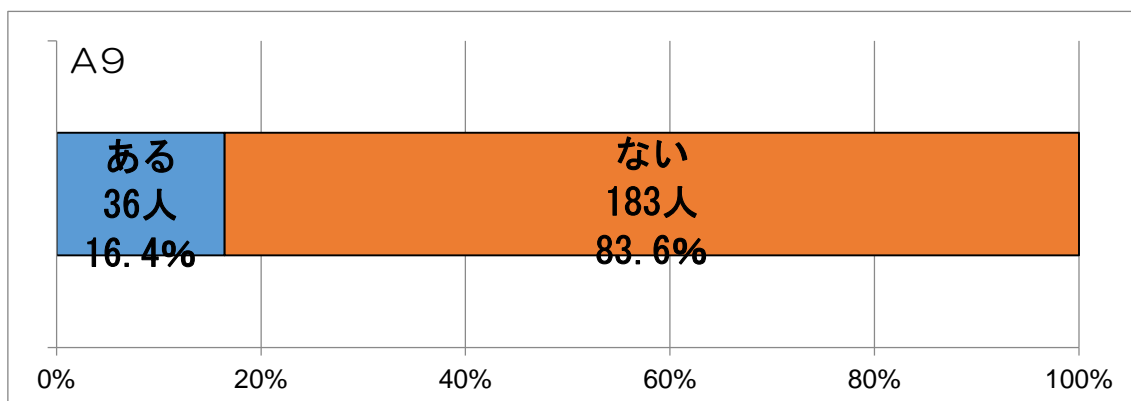
Q9 耳が聞こえない人について

あなたは、今まで耳が聞こえない人とコミュニケーションをとったことがありますか？

※手話、筆談（ひつだん）などのコミュニケーション方法は問いません。

- ①ある ②ない





Q10. あなたの持っている「手話」のイメージについて【自由回答】

あなたの持っている「手話」のイメージについて、教えてください。

(例 耳が聞こえない人のことばである。カッコいい。むずかしそう。など)

「むづかしそう」「おぼえるのがたいへんそうだ」などが多い一方で、「使う人はすごい」「カッコいい」なども目立ちました。

また、がんばっておぼえたいという人も少なからずいる一方、筆談（ひつだん）やケータイのメモの方が確実（かくじつ）そうだ、との意見もありました。

いくつかの意見を選びましたので、紹介します。

- 話したい相手が手話を出来るとはかぎらないので、相手に言いたいことを伝えるのがむづかしそう。
- むづかしそうだけど、コミュニケーションの方法の1つだから大切。ひみつの話とか手話でしたら楽しそう！
- むづかしいけれど、手話を覚えると耳が聞こえない人ともコミュニケーションがとれるから頑張って覚えたいです。今は、「ありがとう」「ごめんなさい」など基本（きほん）的な手話は覚えました。ほかのむづかしい手話も、頑張って覚えたいと思います！
- 人をささえていてすごい
- 身近にいないため、必要性は感じないが 小学校高学年くらいから 手話とか点字などの授業を取り入れていけばもっと理解が深まって福祉（ふくし）に明るい未来がくるのではないかなと思う。何事も子どものころから きっかけが大事だと思う。
- 手話を交えた歌を覚えたことがあります。手話を身近に感じました。
- 手話はやったことがないけど、テレビで同時に手話をやっているのを見ると、なんとなく意味が分かるところはあったりする。
- 手話を少しでも使えたら、耳の不自由なひととコミュニケーションがとれて楽しいと思う！だから、学校などでも、手話に触れる時間があってもいいと思う。
- 話す速さで手話にしていくのがすごいなと思いました。
- 私は、身近に手話を使う人がいて、手話と口を同時に動かしての会話がむづかしいと思いました。

- 使えたらすごいと思う。
でもそこまで知しきがないのでいざ使うとなると、まちがっていそうで勇気が出ない。
- 使うのが大変そう。祖父は耳が聞こえづらくなってきているから、テレビの手話ニュースがわかりやすいと言っていた。